

改善プログラムシート

施設の目指す姿

元々地域住民からなる組織を母体としてNPO法人を立ち上げて運営を行っていることから、地域への貢献や関わりは現状においても特筆すべきものがある。今後は、現在の子どもたちを中心とした地域のコミュニティを既存施設内でとどめることなく、地域全体がその安全・安心な受け皿となるような子どもとおした街づくりの拠点を目指している。

※このシートは、2011年9月時点で考えられたものです。
予算等により変更となる場合もあります。

施設名

玉川学園子どもクラブこころ児童館

担当部課名

子ども生活部児童青少年課

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	施設の有効活用と利用者拡大	2012年度 検討	現状の施設で、多数の利用者に対応できる。	施設自体は東京都の施設であるため、増築等の大幅な施設の改修は不可能である。ハード面での充実も大切ではあるが、ソフト面の充実こそが何より来館者拡大につながるようになると思われる。そのため、例えば、同じ事業を時間帯を分けて2度実施するなど、利用者を拡大しつつスペースの有効活用ができる事業展開を行う。
②	施設間の連携強化	2012年度 実施	情報共有により更なるサービスの向上を図れる。	子どもセンター・子どもクラブの館長会議・研修会の実施・その他意見交換等を行うことにより、各館の情報を共有し、子どもセンター・子どもクラブ事業の更なるサービス向上を図る。